# 令和８年度 松阪菊展 ご案内

主催 松阪三珍花保存会　後援 松阪市

●と　き　令和８年11月13日(金)～11月17日(火)

午前9時～午後4時
(最終日・昼12時まで)

●ところ　松阪市本町　豪商ポケットパーク

## 松阪三珍花保存会有志による「松阪菊展示」





● と　き　令和８年11月18日(水)～11月25日(水)

● ところ

① 松阪菊発祥の地 松阪市新町三丁目919 岡田様 宅

② 旧長谷川治郎兵衛家 魚町1653 (要 入館料)

③ 松阪市幸地区コミニュティセンター

※展示場所により、日程および時間が異なる場合がございます。

花色が多彩で花弁の形が変化してゆく松阪菊をお楽しみ下さい。

<お問い合わせ先>

松阪市幸地区コミュニティセンター　松阪市殿町1198－2

℡ 0598 23－9549

## 松阪菊(Matsusaka Chrysanthemum)

松阪菊には、糸のように細長い管弁の大輪型と、よれた平弁と管弁からなる中輪型の2系統があります。

一般に「伊勢菊」と言われるのは中輪型をさします。伊勢菊は、「嵯峨菊」が祖先種とされ、1412年頃伊勢の国司・北畠満雅氏が京都・嵯峨より持ち帰り、その後、改良がたびたび加えられたと伝えられています。

1830年頃の江戸時代後期、松阪新町の菊愛好家・木下藤八氏は大輪松阪菊を作出し、また伊勢菊を実生栽培から改良し多くの品種の中輪松阪菊を作出したと伝えられています。

松阪菊の開花期は、11月上・中旬で、大輪は松阪糸菊とも言われていたもので花弁は針管・細管で咲きかけが独特の渦巻き状となり、ほぐれるように開花する。

また中輪の花弁は平咲き、垂れ咲き、玉巻き咲きなどがあり、花芯も特徴があり、咲き始めから咲き終わりまで咲き方が変化する。

花の色も白色・黄色・樺色・桃色・紅色、それらの混色・紅白の咲分けなど多様です。

仕立て方は中輪の基本は天・地・人づくり(中幹種)3本仕立て約15花、大輪の場合は3本仕立て3花とする。源平咲分けは多花としてもよい。